



ジケイサポートデイ プログラムメニュー

卒業後も見えた支援を行い、どんな環境の変化にも対応できるように、
しっかりとした土台を作ることを目指します！

A 1.健康・生活 2.運動・感覚 3.認知・行動 4.言語・コミュニケーション

自分を知るプログラム

自分を知る

- ・性格タイプ診断
- ・気分、体調の見える化
(セルフモニタリング)
- ・考え方の癖を知る
- ・ストレンクスとリフレーミング
- ・自分のストレッサーは？
- ・価値観マップ作り

自分を調整する

- ・感情ラベリングトレーニング
- ・ストレス対処法マップ
(ストレスマネジメント)
- ・自己肯定感を高める
- ・外から見た自分は？
- ・自分らしいリラックス法
- ・考えるって楽しい！

自分を伝える、表現する

- ・わたしのトリセツ作成
- ・未来予想図作り
- ・語彙力upゲーム
- ・主体性を呼び覚ます！
・・・etc



自己理解を深め、自己肯定感や、
自分を伝える力、自分を調整する力を育
みます。

B 1.健康・生活 2.運動・感覚 3.認知・行動 5.人間関係

ワーキングプログラム

学習支援と基礎学力・体力UP

- ・学習サポート
- ・読み書き計算
- ・お城や飛行機で社会の勉強
- ・解決策を考える力
- ・体幹トレーニング



生活スキルの基礎づくり

- ・ライフスキルトレーニング
(洗濯、掃除、裁縫、買い物等)
- ・交通機関を使って・・・
- ・情報検索スキルを磨こう
- ・チャットgptを使ってみよう！

社会スキルとマナー習得

- ・時間の使い方シミュレーション
- ・お金をマネジメントゲーム
- ・整理整頓チャレンジ
- ・未来の自分のための食生活
- ・SNSマナー講座
- ・服装と身だしなみ講座
・・・etc

学習のサポートをはじめ、社会生活で
必要になるスキルの基礎まで学びます。

C 1.健康・生活 2.運動・感覚 3.認知・行動 4.言語・コミュニケーション 5.人間関係

コミュニケーションプログラム

人と関わる力の基礎を育てる

- ・未来を変えるあいさつ
- ・どんな表情？
- ・隠れたルールカルタ
- ・人間関係マップ作り
- ・わたし以外の視点

言葉と気持ちをつなぐ

- ・「ありがとう」と「ごめんね」
- ・感情をことばにゲーム
- ・仲間探しゲーム
- ・アサーティブに自己主張
(断る。頼む)

協調性と集団参加

- ・しゃべり場カフェタイム
- ・会話のキャッチボールをしよう
- ・チームでの役割分担体験
- ・ディベートをやってみよう
- ・なぜルールは必要？
・・・etc



多様な他者との円滑な
コミュニケーション能力を高め、
良好な人間関係を築く力を養います。

集団が苦手な場合など、柔軟に対応いたします！

Next

それぞれの道へ！



卒業へ向けて

- ・未来の生活設計図
- ・支援マップ作製
- ・〇〇ネットを利用した
滋慶独自の職業体験



就職

- ・自分に合う働き方診断
- ・職業カードソート
- ・報連相ロールプレイ
- ・履歴書作成練習

進学

- ・進学先情報共有会
- ・オープンキャンパスへGO
- ・面接ロールプレイ
・・・etc

???

- ・就労支援等
- ・ほかにも様々な道を
一緒に考えます。

ジケイサポートデイは、未来の本人が「自分で生きる力」を育てる場所です。
進路がゴールではなく、「自分らしく生きる道」のスタートとなるよう、
本人のペースに寄り添いながら、今できる準備を積み重ねていく支援を行います！

D

チャレンジプログラム

本人の挑戦する気持ちを
スタッフみんなで全力で応援するプログラムです！

- ・検定や資格取得に挑戦！
- ・ボランティア活動に参加しよう！
- ・簿記講座
・・・etc



一人一人の成長記録や写真を、
ファイル化・ポートフォリオにして作成し、卒業時にお渡しいたします！

事業所名

ジケイサポートデイ

支援プログラム

作成日

R7 年

3 月

26 日

法人（事業所）理念		利用者が学校を卒業後、自立（自律）して、自分らしく社会生活を送っていくための準備をサポートします。		
支援方針		● 5 領域を踏まえながら、一人一人の状況や将来設計に合わせて、さまざまなプログラムに取り組み、どこに行っても、何をしても、自分らしく生きるための土台を作る支援をします。 ● 利用者が、自己選択・自己決定、チャレンジができるように支援します。		
営業時間		10 時 分から 17 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容		
本人支援	自分を知るプログラム (1. 健康・生活 2. 運動・感覚 3. 認知・行動 5. 人間関係・社会性)	○毎日の自分を知るために、チェックシートに書き込む。自らが体調管理（検温、日常の健康観察）を行い、その日の目標などを書き込む等の活動を行う。（5領域の1） ○基本的な生活スキル（挨拶、生活リズムの安定、タイムテーブルや活動内容の掲示による視覚化、整理整頓の支援）の獲得を目指す。（5領域の1、3、5） ○コアタイムでの簡単な体操トレーニング（体力の維持・向上）や集団活動を行う。（5領域の2、3、5）		
	ワーキングプログラム (2. 運動・感覚 3. 認知・行動 4. 言語・コミュニケーション 5. 人間関係・社会性)	○読み・書き・計算、試験勉強、パソコントレーニング、職業訓練など一人ひとりのニーズや特性に合わせて取り組んでいく。（5領域の2、3、4、5） ○課題の改善・克服をめざすことを目標に、視空間認知能力を高め、動体視力や判断力などの身体能力の向上を目指す活動を行う。（5領域の2、3） ○集団活動では、環境に配慮し、特性に応じた利用者への配慮を行う。（5領域の2、3） ○得意なこと、能力発揮を目指す。（5領域の2、3、4、5） ○パズル等で数や文字を並べたり、逆に並べたり、数や文字をミックスして行うゲームや、見る力・視覚の力を育むことで学力の向上、運動能力の向上、心の安定を目指す。（5領域の2、3、4、5）		
	コミュニケーションプログラム (1. 健康・生活 4. 言語・コミュニケーション 5. 人間関係・社会性)	○共通な話をするテーマなどを設定して、他の利用者やスタッフとの交流の場を提供する。そのことで、自分の考えを伝えたり、他者の考えを聞いたりといった、人と関わりの大切さに気づける活動を行う。また、付加価値として、相手に対する気配りを身につけることが期待できる。（5領域の1、4、5） ○美術や音楽などの共同での芸術活動を通して、自己表現の向上や創造力を育んでいけるような活動を行う。（5領域の1、4、5） ○共同活動を行うことで人間関係を身に付け、適切な行動パターンを身につけていく。（5領域の4、5） ○社会資源の活用（公共施設等での活動、社会見学等）や職業体験を行っていく。（5領域の4、5）		
	チャレンジプログラム (1. 健康・生活 2. 運動・感覚 3. 認知・行動 4. 言語・コミュニケーション 5. 人間関係・社会性)	○本人の特性を理解し、スタッフ等の打ち合わせを重ねて、本人が安心して挑戦できる環境を提供する。失敗を恐れず挑戦できる姿勢を身につける。例えば、進路や就職の職業選択につながるように、将来を意識したキャリア教育の実践を行っていく。（5領域の1、2、3、4、5） ○本人の特性の生かし方として、得意であること、能力発揮を見せられるプログラムを行っていく。（5領域の1、2、3、4、5）		
家族支援		○連絡帳やLINEアプリを利用し連絡、随時相談を行う。 ○保護者面談の実施（オンラインを利用することもある）	移行支援	○不登校児の受け入れと学校スタッフとの情報共有 ○進学・就職・就労に向けてのサポートと情報共有
地域支援・地域連携		○サービス担当者会議等を通じた関係機関との連携 ○他事業所等との交流 ○滋養学園グループのノウハウを生かす。	職員の質の向上	○各種研修受講や勉強会への参加 ○ケース会議の定期開催や終礼での情報共有・意見交換
主な行事等		○学校休校日・・・外出プログラム／作品制作／ゲーム大会／職業体験プログラム等		